

台東事業

① 台東国際青年商会との継続的な国際交流

(現状と課題)

一般社団法人飯塚青年会議所(以下、飯塚 JC)および台東国際青年商会(以下、台東 JC)は、1975 年の ASPAC 大会で開催された懇親会での出会いをきっかけに友好 JC の調印をかわし、2025 年度に 50 年目を迎えます。諸先輩方は交流を重ね、2013 年から 2019 年までは毎年交互に訪問、コロナ禍の中断等があったものの、2023 年に相互訪問を再開し、2024 年にも台東 JC への訪問を予定するなど、改めて姉妹 JC 交流が広がりつつあります。

しかし中断期の影響もあり、交流経験の少ない会員も多く、その歴史や意義への理解・周知には課題があります。また、これまでの姉妹 JC 交流は組織内にとどまる傾向にあり、地域全体での認知や、交流を地域の発展に活かすという観点の活動はこれから発展させる必要があります。特に近年はインバウンドや留学生・外国人労働者など、グローバル化の影響が社会全体に浸透している中、姉妹 JC 交流がエリア全体にもたらしえる貢献の重要性は高まっています。

そこで、組織内では改めてこの歴史を紐解き国際的つながりの意義を共有するとともに、対外的には交流事業を地域へと展開し、エリアの国際理解と相互理解を推進、さらに地域社会の発展に寄与することが今後の課題となります。

(目的)

(対内) 姉妹 JC との友好関係を深めるとともに、会員の台東 JC への理解、交流の歴史と意義への理解を浸透させ、今後の継続と発展を基礎づける国際交流への意欲を喚起することを目的とします。

(シニア) シニアの先輩方が長年にわたって構築された関係を事業に活かしながら、これを維持・発展させることを目的とします。

(対外) 姉妹 JC 交流活動を地域社会へとつなげ、エリアの国際理解を高めながら地域社会の発展に貢献できる関係性を築くことを目的とします。

(事業内容)

会員の台東および交流事業への理解を深めた上で、地域に交流が派生するような受け入れ事業を行います。

(事業)

(1) 台東 JC との交流の歴史や現在の台東 JC、台東市に関する理解を深める会員向け研修

(事業)

(2) シニアクラブを交えた台東 JC 訪問受け入れと、二市一町の多様な人々との交流マッチング

年間事業フレーム

一般社団法人飯塚青年会議所

常務室

常任理事 嶋田 吉朗

全
国
大
会
く
福
岡

世
界
会
議
く
台
湾

京
都
会
議
く
京
都

A
S
P
A
C
く
モ
ン
ゴ
ル

サ
マ
コ
ン

全
国
大
会
く
佐
賀

世
界
会
議
く
チ
ユ
ニ
ジ
ア

運動・事業名	9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月				4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4				
予算および決算等の会計業務	特別委員 一般会計当初予算				各種大会分担金 三大行事特別会計				一般会計 補正予算				一般会計補正予算																一般会計決算																																			
台東国際青年商会との交流に関する研修	引継ぎ・調査研究								パートナーとの会議・連携								事業計画 協議				事業計画 審議				事業実施				検証・交流事業計画への反映								検証・報告 引継ぎ																											
台東国際青年商会との継続的な国際交流	引継ぎ・調査研究								パートナーとの会議・連携																事業計画 協議				事業計画 協議				事業計画 審議				事業実施				検証・報告 引継ぎ																							
飯塚JC全体で取り組む会員拡大	拡大意識醸成のための会員同士の魅力の発信および共有																																																															
飯塚JC全体で取り組む山笠運営	山笠担当者との連絡調整・会議等への協力																本番				山笠担当者との連絡調整・会議等への協力																																											